

横田基地所属のオスプレイの部品紛失について（要請）

令和2年6月18日、北関東防衛局から「令和2年6月16日17時頃、飛行後の点検において、航空機のサーチライトドームの紛失が判明した。大きさは、6¼インチ×6¼インチ×4インチ（約15.8センチメートル×約15.8センチメートル×約10センチメートル）、重量は、約1ポンド（約453グラム）。落下場所は不明」との情報が提供された。

部品等の落下は人命に関わる重大な事故につながりかねず、多くの住民に不安を与えるものである。

過去にも、横田基地所属機の部品遺失が発生しており、その都度、再発防止の徹底と安全性が確認されるまで運用を再開しないことを要請してきたが、再度、こうした事故が発生したこと及び今回の遺失判明後の17時以降においても、CV-22オスプレイが飛行を続けていたことは、極めて遺憾である。

こうした事故の発生に対して嚴重に抗議するとともに、貴職においては、下記のとおり対応するよう要請する。

記

- 1 事故の経緯を明らかにし、原因究明を行い、再発防止を図ること。
これらの対応が図られるまで、同機種の飛行運用を差し控えること。
- 2 航空機の点検整備を強化するとともに、安全確保の徹底を図ること。
- 3 以上に関する情報を関係自治体に速やかに提供すること。

令和2年6月19日

在日米軍横田基地第374空輸航空団副司令官

ジェイソン T. ミルズ大佐 殿

あきる野市長 村 木 英 幸

